

第1学年音楽科年間学習予定

担当 早津ことみ

	学習内容	学習のねらい
一学期	<ul style="list-style-type: none"> ○旋律の表情 「校歌」 「We'll Find The Way」 ○イメージと音楽 「ジョーズのテーマ」 ○情景と音楽 「四季」より「春」 ○アルトリコーダー 「喜びの歌」 「きらきら星」 「かえるの歌」 ○詩と音楽 「浜辺の歌」 	<ul style="list-style-type: none"> ・明るい響きでのびのびと歌う。 ・歌う姿勢や呼吸に注意して歌う。 ・音楽から得られるイメージと、音楽の特徴との関わりに注目しながら聴く。 ・ソネットの情景と音楽を形作っている要素や構造との関わりを感じ取る。 ・リコーダーの運指、タンギングや息の使い方の技能を身に付ける。 ・歌詞の内容や曲想を感じ取り、表現を工夫して歌う。
二学期	<ul style="list-style-type: none"> ○合唱の喜び 「自由曲」 ○物語と音楽 「魔王」 ○詩と音楽 「赤とんぼ」 ○自由なイメージ 「リズムアンサンブル」 ○アジアの音楽 「日本の民謡」 「アジアの諸民族の音楽」 	<ul style="list-style-type: none"> ・混声合唱の厚みのある響きや声を合わせて歌う合唱の充実感を味わう。 ・声の変化、曲想の変化を感じ取って聴き、言葉で説明する。 ・我が国の自然や四季の美しさを感じ、日本語の持つ美しさ味わい、表現を工夫して歌う。 ・パーカッションを用いた創作アンサンブルができるようにする。 ・アジア各地の音楽を聴き、声や楽器の音色の特徴を感じ取る。
三学期	<ul style="list-style-type: none"> ○日本の伝統音楽 「雅楽「平調 越天楽」」 ○合唱の響き 「旅立ちの日に」 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽器の音色や役割を知り、雅楽のよさや美しさを味わって聴く。 ・卒業式を控え、充実した式歌に仕上げようとする意欲をもち、豊かな響きを感じて合唱できるようにする。

教科の目標
<ul style="list-style-type: none"> (1) 曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。 (2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。 (3) 主体的・協動的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。
評価の観点
<p>〈知識・技能〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。 <p>〈思考・判断・表現〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。 <p>〈主体的に学習に取り組む態度〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽生活を楽しみながら主体的・協動的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
評価の方法
<p>多様な音楽活動への積極的な取り組みの様子、聴く姿勢・態度、提出物、忘れ物、班活動、パート練習、全体練習など行事への取り組みの様子、発表、ワークシート、実技テスト、定期テスト、小テストなど</p>
学習に必要な用具
<p>教科書(1)、器楽の教科書、コーラスフェスティバル、アルトリコーダー、ファイル、筆記用具</p>

第2学年音楽科年間学習予定

担当 早津ことみ

	学習内容	学習のねらい	教科の目標
一 学 期	○旋律の表情 「校歌」 「明日を向いて」 「翼をください」	・明るい響きでのびのびと歌う。 ・他のパートを聞きながら歌い、音の重なりを感じ取る。	(1) 曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。 (2) 曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。 (3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。
	○音楽の形式と響き 「フーガ ト短調」	・旋律が次々と追いかけるように重なっていく様子を聴き取る。	
二 学 期	○アルトリコーダー 「ラヴァーズ コンチェルト」	・曲想に合わせて表現を工夫する。	評価の観点 〈知識・技能〉 ・曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。 〈思考・判断・表現〉 ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい音楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。 〈主体的に学習に取り組む態度〉 ・音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽生活を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
	○混声合唱の響き 「自由曲」 ○オーケストラの響き 「ベートーヴェン 交響曲第5番」 ○詩と音楽 「荒城の月」 「サンタルチア」 ○オペラの名曲 「アイダ」 ○自由なイメージ 「リズムアンサンブル」	・混声合唱の厚みのある響きや声を合わせて歌う合唱の充実感を味わう。 ・オーケストラによる多彩な表現や作曲者の心情を総合的に理解して鑑賞する。 ・歌詞の内容や曲想を味わい、曲にふさわしい強弱、速度を工夫して歌う。 ・「アイダ」の学習を通して、総合芸術の多様な表現を理解して鑑賞する。 ・パーカッションを用いた創作アンサンブルができるようにする。	
三 学 期	○日本の伝統音楽 「勸進帳」 ○合唱の響き 「旅立ちの日に」	・「勸進帳」の学習を通して、総合芸術の多様な表現を理解して鑑賞する。 ・卒業式を控え、充実した式歌に仕上げようとする意欲をもち、豊かな響きを感じて合唱できるようにする。	評価の方法 多様な音楽活動への積極的な取り組みの様子、聴く姿勢・態度、提出物、忘れ物、班活動、パート練習、全体練習など行事への取り組みの様子、発表、ワークシート、実技テスト、定期テスト、小テストなど 学習に必要な用具 教科書(2・3上)、器楽の教科書、コーラスフェスティバル、アルトリコーダー、ファイル、筆記用具

第3学年音楽科年間学習予定

担当 早津ことみ

学習内容		学習のねらい	教科の目標
一 学 期	○旋律の表情 「校歌」 「花」 「花の街」	・明るい響きでのびのびと歌う。 ・曲種に合わせた発声でふさわしい表情を工夫して歌う。	<p>(1) 曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。</p> <p>(3) 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。</p>
	○オーケストラの響きを聴こう 「ブルタバ」 「ボレロ」	・曲の背景を理解し、その曲のよさや特徴を捉え、曲想との関わりを考察する。	
	○アルトリコーダー 「ラヴァーズ コンチェルト」	・曲想に合わせて表現を工夫する。	
二 学 期	○混声合唱の響き 「自由曲」	・混声合唱の厚みのある響きや声を合わせて歌う合唱の充実感を味わう。	<p>〈知識・技能〉</p> <p>・曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。</p> <p>・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。</p> <p>〈思考・判断・表現〉</p> <p>・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい音楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。</p> <p>〈主体的に学習に取り組む態度〉</p> <p>・音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽生活を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>
	○世界の音楽 「帰れソレントへ」 「Let It Be」	・歌による文化、言葉の違いを理解し、音楽の諸要素に関連付けて、曲にふさわしい表現を工夫する。	
	○創作 「旋律をつくろう」	・和音の音を使って、伴奏に合う簡単な旋律をつくる。	
三 学 期	○日本の伝統音楽 能「羽衣」	・能の特徴について、様式を含めて理解し、その特質や魅力を味わって聴く。 ・卒業式を控え、充実した式歌に仕上げようとする意欲をもち、豊かな響きを感じて合唱できるようにする。	<p>多様な音楽活動への積極的な取り組みの様子</p> <p>聴く姿勢・態度、提出物、忘れ物、班活動、パート練習、全体練習など行事への取り組みの様子、発表、ワークシート、実技テスト、定期テスト、小テストなど</p>
	○合唱の響き 「旅立ちの日に」		
			<p>学習に必要な用具</p> <p>教科書（2・3下）、器楽の教科書、コーラスステージ、アルトリコーダー、ファイル、筆記用具</p>